

非常時に機能する水道施設

苦小牧市は高丘、錦多峰に2ヶ所の浄水場を有し、市民に安全でおいしい水を供給しています。

噴火に備えた取水施設

苦小牧市のシンボルである樽前山は活発な活火山です。水道部では樽前山の噴火を想定して、高丘系施設に2ヶ所の「地下水取水場」を設置、合計12,000m³/日の水を確保しています。1人1日に使用する飲料水・生活用水量を「60リットル」として換算すると、20万人分に相当する量です。



高丘地下取水場

非常用備品を備えた資材倉庫

水道部には、非常時の水道管の破損に備えた応急復旧用の器具機材や、応急給水用のポリ容器、ポリ袋などを備蓄した資材倉庫が市内各所にあります。



錦多峰浄水場資材倉庫

防災情報電話サービス

樽前山の活動状況や市内での大規模災害発生時の情報を24時間自動電話にて案内しています。

専用電話 0144-32-6667

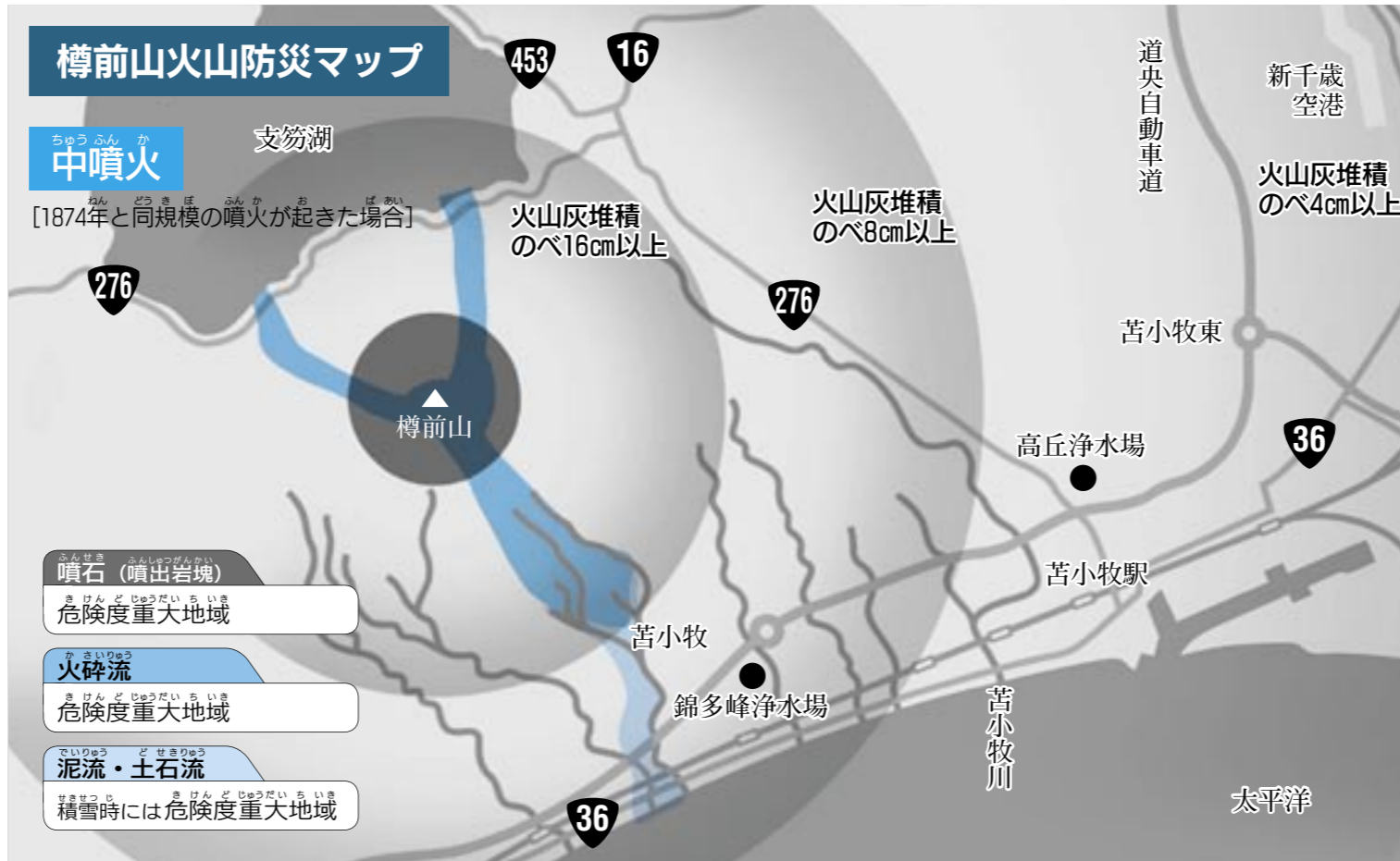
災害に備えて、このページをご活用してください。



災害が起きたらあなたは？

災害時には、生活するうえで最低限必要な水や電気、ガスなどの「ライフライン」が遮断する恐れがあります。平成7年の阪神・淡路大震災や、昨年の新潟県中越地震でも飲み水の確保は大きな問題になりました。苦小牧市水道部では、市民の皆さまに確実に水を届けるために、避難所などに給水所を設けて、給水車等により水を配給いたします。

今年4月には、防災機能を備えた日の出公園内に耐震性貯水槽が完成し、新たな給水ポイントとして稼動しています。



災害に備えて、日頃から水のくみ置きを心がけましょう

- ・ 1日に必要な飲料水は1人3リットルが目安です
- ・ 風呂の残り湯などをとっておき、断水時のトイレや洗濯用に使用しましょう

耐震性貯水槽とは

今年4月に完成した施設で、配水管と接続し、平常時は新鮮な水が流れています。地震時に配水管が破損等を起こし水圧が低下すると、貯水槽に設置してある緊急遮断弁が作動し、貯水槽内に飲料水が確保されます。貯水槽内の水は、口径40mmの手動ポンプ1台、エンジンポンプ1台で汲み上げて給水します。

耐震性貯水槽イメージ図



災害時に水が出ない...

災害時、水道管の破損により、ご家庭の蛇口から水が出ない場合があります。そんなとき、どのような行動をとればよいのでしょうか。

1. 避難所までお越し下さい

お近くの避難所まで、給水車等が水を運んで行きます。避難所は小学校、中学校、高校、高専、大学が指定されています。



水道部所有の給水車

2. 水を入れる容器をお持ち下さい

災害に備えて、水を入れる容器を準備しておきましょう。ペットボトルや10リットルのポリ容器などが適しています。



3. 給水所では係員の指示に従って下さい

皆様に迅速かつ的確に水をお配り出来るように、水道部では毎年防災(給水)訓練を行っております。給水所では慌てずに、係員の指示に従うようご協力下さい。



給水訓練の様子